

# 支部協だより

第97号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 Tel.098-870-7101  
 Fax.098-875-7450  
 責任者  
 黒島善市

## 総会のお知らせ

今年の総会は、「お笑い米軍基地」で有名な「FECオフィス」の寸劇も入れて楽しく行います。友人をお誘いの上、多数の会員の参加をお待ちしています。

### 告示

左記の通り第十三回(通算二十五回)定期総会を開催します。

#### 記

- 一、日時 (一) 総会：二〇一一年十月二十一日(金) 15時から17時まで  
 (二) 寸劇：「アギジャビヨウ商店」17時15分から17時45分まで  
 (三) 交流会：18時から20時30分まで
- 二、場所 マリエール・オークバイン  
 那覇市古島1-15-11 (電話八八六一三〇三〇)
- 三、会費 無料

モノレール古島駅下車5分以内

マリエール・オークバイン 那覇市古島1-15-11  
 (098) 886-3030

\*電話で連絡下さる方は、役員の携帯電話かまたは、月・水・金曜日の午前10時から午後3時までをお願いします。

●電話 098-870-7101  
 ●FAX 098-875-7450

▼役員への連絡について(終日)

黒島	会長	090-7926-8616
瀬良垣	副会長	090-7981-0131
垣花	副会長	090-5730-1428
渡嘉敷	副会長	090-1085-3245
長嶺	事務局長	090-2712-6486
澤岬	事務局次長	090-3322-9320
本村	幹事	090-1088-1938
松田	幹事	090-3014-2893
長嶺瞳	幹事	090-9573-4111
宮城恵子	幹事	090-2515-5400
大城光江	幹事	090-4587-6212
大城則江	幹事	080-2719-7720

NTT労組沖縄支部執行委員長 濱元盛任  
 NTT労組退職者の会沖縄県支部協議会長 黒島善市

※出席可能者は、十月十二日(水)午後三時まで、なるべく早めにご連絡下さい。

## 2011年度活動方針(案)骨格

安心・信頼・生きがい  
 あふれる21世紀・  
 みんなとともに!

### 1号議案

はじめに

敗戦後66年、2009年9月16日に民主党新政権が樹立されたにもかかわらず、鳩山政権と菅政権も沖縄への差別政策を継続してま

発展を謳歌するという国策の仕組みです。即ち「犠牲」を地方に押し付ける差別の構図は同じです。

新政権なら、当然そのような国策の仕組みを変更することによって、国民からの信頼を獲得すべきです。

一年間の経過と課題について

(○は経過、□は課題です)

○会員の西江喜春さんが重要無形文化財保持者(人間国宝)として認定されました。喜ばしい限りです。沖縄の伝統芸能・組踊音楽・歌三味線の分野での更なる貢献と発展が期待されます。

□私たちの会員には、郷土芸能に秀でた会員が、多数います。また、地域で必要且つ要望されて活躍されている会員が多数います。これらの会員の紹介に努めます。原稿依頼ではなかなか大変なのでインタビュー形式も取り入れます。会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

○沖縄の課題について、特に基地新設問題について「NO」の意思が示せるよう「来年6月の県議会議員選挙」に勝利しよう。

□会員名簿を何年ごとに作成するか検討してきました。検討結果、従来どおり2年ごとに作成します。記載項目は、市町村別に氏名・生

年月(日は記載なし)・住所・電話番号の順で記載して、最後に氏名一覧と記載ページの索引を付けます。

○沖縄のピースすてーじには、全国から退職者の会員14人が参加されました。会員の皆様が認識を新たにした。過密な基地の現状や戦場の悲惨さについて、いつまでも記憶にとどめま

すよう折るばかりです。

○6月に開かれた全国交流集会には、宮古地区協会長の下里茂博さんと八重山地区協副会長の黒島孝子さんを派遣しました。東日本大震災・被災地の岩手県支部協事務局長直接のご報告を受け、非常時の際の行動の仕方や日常生活上の対策等で大変感銘したとの感想をいただきました。

○2012年5月に開催される全国交流集会に2名を派遣します。

○グラウンド・ゴルフ大会は3月18日新都心運動公園に、14チーム78名の参加で開かれました。離島の八重山から参加した大島克博チームが優勝しました。

□次回は、2012年3月中旬に同大会を開催します。

○琉歌碑めぐりは、阿波根直孝講師のご案内で本部の伊野波節や森深き山原の辺野喜節や与那節等の土地を回りました。また現地では、会員で師匠でもある松田竹徳の素晴らしい詠唱も堪能

分にかかる費用は含まれていません。最終処分方法が見えない。無いから計算ができない。即ち、原価計算に入れることができないというのが本音でしょう。

さらに、原発の放射能による汚染の賠償問題は、「安い原発」の発電単価に疑問を投げかけています。

そこから見えてくるのは、事件事故の多い米軍基地を辺鄙な沖縄に押し付けて、国の安全を担保(?)し、危険な核(爆発)発電所を過疎の地方に押し付けて、経済

は、

は、



しました。  
 □次回は、2012年2月中旬に本当南部を主体にした「琉歌碑めぐりと史跡の探訪」を行います。  
 ○歴史散歩サークルは、開始から約7年間で過ぎました。那覇市の小字単位の散歩から始まって、今、恩納村の国指定の歴史の道を歩き、貝塚跡に来ています。毎回、15人から20人が4〜5台の乗用車に分乗して「説明を受けて、昼食を」楽しんでいきます。  
 □残りの、金武町や宜野座村を終了しますと、新たに那覇市の小字単位の「歴史散歩の開始」を検討します。新規会員も募集します。  
 □久米島会員との交流行事は、現地会員と相談しながら行います。  
 □N.T.T労組は、7月14日に開催した第14回定期全国大会で現在活躍中の「吉川さおり」君を、2013年に行われる「第23回参議院選挙」の組織内候補として擁立することを決定しました。会員やご家族の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いいたします。  
 □アピール21の拡大に努めます。  
 ○退職者の会の会員数は、2011年6月時点、全国で105,929人です。なお沖縄の会員は、737人(男506人・女231人)です。この会員のうち、9人が連絡先不明です。

生き生き通信

ただ今現役

耕す畑は3000坪！  
八重瀬町富盛に  
川端幸徳さんを訪ねて



いつせ和女話  
ぶりの川端さん

川端さんは現在約3000坪の畑にサトウキビと自家用野菜を、すべて一人で植えて管理していらつしやいます。在職中から退職後は農業を考えると、そのために、必要な土地を、お母様から譲り受けた畑に加え、ボーナスで順次買い足して準備したそうです。

毎朝お日様と共に畑へ出かけ、10時頃までに午前の仕事は終え、日中は休息をとり、夕方5時ごろから再び畑へ戻り一仕事をし、9時頃には就寝する日課だそうです。



うです。

今年1300坪に新しくキビを作付けしたそうですが、すべて一人で手作業で行ったそうです。機械で行うと根付く確立が落ちるので、植え付けだけは手作業が一番とのことでした。

この3月、4月は雨が少なく、作付けの段取りが大変だったそうです。

出荷は12月から翌3月まで、以前は大変な作業でしたが、最近では組合に全て、又は一部委託等が可能なので、無理のない範囲で上手に作業をしているそうです。これまでゴーヤー、サヤインゲン等いろいろ試行錯誤してきて、現在はサトウキビ(農林21号)のみに絞っているそうです。畑仕事の合間に月5〜6回は老人会のメンバーとグラウンドゴルフ、ボウリング等も楽しんでおり忙しく充実した日々を送っていらつしやいました。身体を動かし働いて何

がしかの収入を得ることは、生きがいにもなり充実感があり、退職後の生活の在りようとして大変参考になるのではと思います。

自宅は太平洋が望める高台にあり、庭にはマンゴー、シークアサー、パンシルー等が植わって、お孫さん三人が水遊びに興じていて、そこには以前多くの沖縄の人々が暮らしていたようなゆつたりとした空間がありました。正に、悠々自適で晴耕雨読な人生！

畑を案内して頂きました。畑を誇らしげに、愛おしくいろいろな説明して頂きました。真夏の太陽をものともせず、背筋を真っ直ぐに佇む川端さんを拝見すると、ご自身がおっしゃるように90歳まで農業を続けるという思い、納得しました。近くに県指定有形民俗文化財「富盛の石彫大獅子」が鎮座し、村を守っております。



富盛の石彫大獅子

会員の訃報について  
 慎んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします  
 金城壽男(二〇一・七・二十一)満七〇歳、那覇市在

長崎平和フォーラムに参加して

幹事 松田 竹徳



七月七日から九日までの日程で長崎で開催された二〇一一年原水爆禁止長崎大会に、N.T.T労組退職者の会沖縄県支部から参加した。

大会初日は、連合はじめ被爆者団体や市民団体が参加し、数千人規模の全国集会が行われた。来賓挨拶をした長崎市

長は、三月十一日に発生した東日本大震災や福島原発事故に触れ、これまでの原子力安全神話を直視し、国策として今後自然エネルギーを推進していく必要があるのではないかと強調していた。また、非人道兵器である核兵器を大量に保有している大国が、率先して核兵器の全廃を目指していくべきであり、わが国は世界で唯一の被爆国として、非核三原則を堅持し、核の傘神話を改め、国策として核兵器の廃絶を強力に進めるべきだと訴えた。

七月八日は情報労連主催の全国大会が開催された。全国から数百人の働く仲間や退職者の会の会員が集い核兵器廃止を訴えた。特に被爆をされ、原爆が投下された直後の状況や被爆者を目の当たりに見た状況を克明に語った池田氏の証言は、原爆の恐ろしさと戦争がいかに人間に不幸をもたらすかを切々と訴えた。大会最後の日には戦時中通信関係に従事し殉職された方々の慰霊祭が行われた。長崎平和祈念館近くに建立された慰霊碑の前で通信事業関係者が多数参加。厳かに殉職された方々の霊を慰め供養した。

今回の原水爆禁止全国大会では、戦争の愚かさや平和が人間社会にとつていかに尊いものであるかを多くの参加者が訴えていた。また、平和は多くの人々が心を一つにして国民に訴え、世論を喚起することによって実現するものだと感じた。はじめて参加した長崎大会で、多くの参加者と平和の問題について意見交換することができた。また、退職者の会の交流会では中央本部の会長、各県支部の皆さんとの親睦を図ることができ大変有意義であった。

三日間の大会行事では長崎県支部の皆さんに大変お世話になりました。改めて御礼を申し上げます。

\*「トゥシビーおめでとう」は次回掲載します。